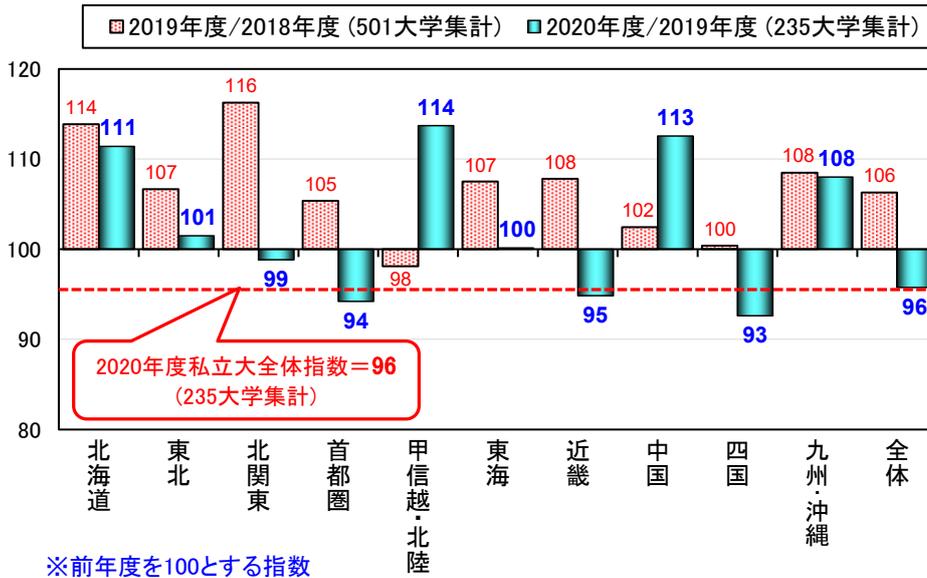


2020 年度入試状況分析【私立大】

◎地区別志願状況

□首都圏、近畿の減少が全体の減少に直結



大学の所在地別では、地方部の中国(113)、北海道(111)、九州・沖縄(108)と地方での「地元志向」による増加が強く表れています。

一方で、募集人員の多い大規模な総合大学が多い都市部の首都圏(94)、近畿(95)は減少しており、いずれも減少率が全体の減少率より大きくなっているのが目立ちます。特にこの2地区の減少が全体の減少に直結しています。

なお、四国(93)は、4月11日現在では聖カタリナ大と松山大の2大学のみの集計のため、参考値です。

※文中の()内の数値は、志願者数の前年度対比指数を表します。